

事業区分	事業内容等	全体計画	評価項目	評価項目の考え方等	評価手法	中間報告書			
						本文	資料		
人工林整備	林業活動では整備が困難な奥地や作業が困難な公道・河川沿い等の人工林について、公益的機能を十分に発揮する森林へ誘導するために県が間伐等を実施する。	間伐面積 15,000ha	<b>① 事業実績（事業計画に対する達成状況等）（P8）</b>						
			事業計画数量に対する達成率	事業計画数量に対する実施面積の把握	年度別及び全体計画面積に対する実績を集計	P8	1-2 1-5		
			<b>② 成果・波及効果（P10）</b>						
			県全体の間伐面積に対する整備率	県全体の間伐面積に対する事業実施面積割合等の把握	県の間伐全体計画に対する実績を集計	P10	—		
			森林所有者立会等による事業界の明確化	明確化された森林の筆数、面積の把握	とりまとめ業務委託等の結果の集計(工事台帳)	P10	1-5		
			間伐材の利用状況	間伐材の利用材積の把握	実態数量の聞き取り等	P11	1-5		
			植生の回復状況	下層植生の発生状況等の把握	森林・林業技術センターの調査結果による	—	1-5		
			団地の設定	団地数(発注数)、とりまとめ活動団体数の把握	実態数量の聞き取り等	P11	1-5 1-6		
			<b>③ 県民や事業関係者の意識（P27）</b>						
			県民の理解、意識	事業内容の理解度、認知度、今後の期待度等の把握	事業全体と併せてアンケート	P27	2-5 ～ 2-7		
			雇用効果	森林整備事業体の雇用効果の把握	森林整備事業体にアンケート	P33	1-5 3-8		
			市町村担当者の理解、意識	事業の有効性、満足度、今後の期待度等の把握	市町村担当者にアンケート	P31	3-1		
			森林所有者の理解、意識	事業の有効性、満足度、今後の期待度等の把握	森林所有者にアンケート	P33	3-7		

事業区分	事業内容等	全体計画	評価項目	評価項目の考え方等	評価手法	中間報告書			
						本文	資料		
里山林整備	里山林を再生するために簡易防災施設の設置等を含め、県営により、整備を実施するほか、市町村が行う地域住民やNPO等との協働による提案型の里山林整備や手入れのされていない里山林の健全化のための整備に対して交付金を交付する。	提案型里山林整備 50箇所 里山林健全化整備 79箇所 里山林再生整備 63箇所	① 事業実績（事業計画に対する達成状況等）（P12）						
			事業計画数量に対する達成率	事業計画数量に対する実施箇所数の把握	年度別及び全体計画箇所数に対する実績を集計	P12	1-2 1-7		
			② 成果・波及効果（P14）						
			地域等の活動状況	年度毎の団体数、活動日数、持続性、一般参加者数等の把握	活動団体等に調査を依頼	P14	1-8		
			事業関係の相談件数等の推移	事業化への相談件数、事業不採択の理由の整理等の把握	年度毎の状況を整理・集計	P14	1-7		
			植生の回復状況	立地環境、下層植生、種多様性の変化状況の把握	森林・林業技術センターによる調査結果による	—	1-8		
			③ 県民や事業関係者の意識（P27）						
			県民の理解、意識	事業内容の理解度、認知度、今後の期待度等の把握	事業全体と併せてアンケート	P27	2-7 ～ 2-9		
			地域活動団体の理解、意識	事業の有効性、満足度、今後の期待度等の把握	地域活動団体にアンケート	P33	3-8		
			市町村担当者の理解、意識	事業の有効性、満足度、今後の期待度等の把握	市町村担当者にアンケート	P31 P32	3-2 ～ 3-4		
森林所有者の理解、意識	事業の有効性、満足度、今後の期待度等の把握	森林所有者にアンケート	P33	3-7					

事業区分	事業内容等	全体計画	評価項目	評価項目の考え方等	評価手法	中間報告書			
						本文	資料		
都市緑化推進	都市における樹林地の保全・創出を図る事業や、民有地の緑化、美しい並木道の再生、県民参加で実施する緑化活動や都市緑化の普及啓発活動などへの支援に要する経費を市町村に交付する。	身近な緑づくり 124箇所 緑の街並み推進 1,000箇所 美しい並木道再生 145箇所 県民参加緑づくり 780箇所	① 事業実績（事業計画に対する達成状況等）（P15）						
			施策実施市町村数	実施する市町村を経年的に把握し、県内への広がりを把握評価する	県内都市計画区域内の51市町村で、都市緑化推進事業の未経験市町村をゼロにすることを目標にしており、都市緑化4事業の内、少なくともいずれかの事業を実施。平成30年度時点で、4事業のそれぞれの実施市町村数の累計が、80市町村となることを目標としている	P15	1-3 1-8		
			② 成果・波及効果（P18）						
			県民参加人数				P18	1-8	
			市町村における緑化に関する独自の取組の展開度	市町村における緑化の助成制度などについて、各市町村毎の取組項目のマトリックスを作成し、どのように拡大するかを把握、評価する	都市緑化推進事業評価項目(案)による	P18	1-9 1-10		
			優良な緑化件数	優良な緑化のケースを選定し、事例集などの形で取りまとめ、PRすることにより、緑化の質の向上に努め、その件数の把握、評価を行う。	都市緑化推進事業評価項目(案)による	P18	1-10 ～ 1-16		
			③ 県民や事業関係者の意識（P27）						
			市町村担当者の理解、意識	事業の有効性、満足度、今後への期待、事業内容の認知度、事業内容の理解度、個々の整備目的に対する達成度等をアンケート	市町村担当者を対象にアンケート	P32	3-4		
			緑化活動参加者などの理解、意識	緑化活動の参加者を対象にアンケートを実施、緑化に対する意識変化について把握、評価する	今後継続して調査を実施	P35 P36	—		

事業区分	事業内容等	全体計画	評価項目	評価項目の考え方等	評価手法	中間報告書			
						本文	資料		
環境活動・学習推進	多様な主体による自発的な森と緑の保全活動や環境学習の一層の進展を図るため、NPO,市町村等を対象に企画提案型の交付金事業を実施し、活動に対する支援を行う。 また、複数の主体の連携による生態系ネットワークの形成に資する活動に対し、支援を行う。	交付金交付事業数 900件	① 事業実績（事業計画に対する達成状況等）（P19）						
			交付金交付事業数	交付金を交付した事業数で評価	実績の集計	P19	1-4 1-17		
			応募事業数の状況	応募のあった事業数の状況や推移で評価	実態数量の把握	P19	1-17		
			生態系ネットワーク形成の状況	交付事業で新たに創出、または再整備されたビオトープの数で評価	実績の集計	—	—		
			② 成果・波及効果（P20）						
			交付金事業への参加者数	交付金事業への参加者数により評価	実態数量の把握	P20	—		
			新規採択団体数の推移	新規に交付した団体数の状況と推移で評価	実態数量の把握	—	—		
			③ 県民や事業関係者の意識（P27）						
県民の理解、意識	事業実施団体を通じて実施する参加者アンケートにより把握	一般県民及び参加者を対象にアンケートを実施	P36	2-12 ～ 2-14					

事業区分	事業内容等	全体計画	評価項目	評価項目の考え方等	評価手法	中間報告書			
						本文	資料		
森林整備技術者養成	通常の森林整備より作業条件の悪い事業に従事するために必要な技術・技能を短時間で習得させる研修を実施し、技術者の確保、育成を進める。	養成技術者数 200人	<b>① 事業実績（事業計画に対する達成状況等）（P21）</b>						
			事業計画数量に対する達成率	事業計画数量に対する研修受講者数の把握	年度別及び全体計画人数に対する実績を集計	P21	1-18		
			<b>② 成果・波及効果（P22）</b>						
			森林整備事業体の状況	森林整備の入札参加資格者数の推移の把握	入札参加資格者名簿により集計	P22	1-18		
			人工林整備事業の従事状況	人工林整備事業の従事状況の把握	受注実績集計	P22	1-18		
			<b>③ 県民や事業関係者の意識（P30）</b>						
			森林整備事業体の理解、意識	本研修へ従業員を派遣した事業体に対して、研修の有効性、満足度の把握	森林整備事業体へアンケート	P33	3-9 3-10		
研修受講者の理解、意識	研修受講者に対し、習得した知識・技術による現場での有効性、満足度の把握	研修受講者へアンケート	P34	3-11 3-12					

事業区分	事業内容等	全体計画	評価項目	評価項目の考え方等	評価手法	中間報告書			
						本文	資料		
木の香る学校づくり推進	森林整備の意義や木材活用の効果について普及啓発を進めるため、公立小中学校に愛知県産木材を使用した児童生徒用学習机・椅子、 <b>下駄箱、ロッカー等</b> の導入に必要な経費の一部を市町村に交付する。	県産木材製品導入数 机・椅子 70,000セット  <b>下駄箱等 1,640個</b>	<b>① 事業実績（事業計画に対する達成状況等）（P23）</b>						
			事業計画数量に対する達成率	事業計画数量に対する導入数の把握	年度別及び全体計画数量に対する実績を集計	P23	1-4 1-18		
			<b>② 成果・波及効果（P25）</b>						
			製作者数	事業実施により推移の把握	製造している業者の実態数量を聞き取り等	P25	1-18 1-19		
			製品数	〃	実態数量を聞き取り等	P25	1-18 1-19		
			<b>③ 県民や事業関係者の意識（P27）</b>						
			県民の理解、意識	事業内容の理解度、認知度、今後の期待度等の把握	事業全体と併せてアンケート	P27	2-14 ～ 2-16		
			児童・生徒、教師、教育関係者等の理解、意識	導入校を中心に、事業の有効性、満足度、今後の期待度等の把握	学校関係者を対象にアンケート	P32	3-6		
				未導入の市町村も含め全ての市町村に対し、事業制度に関する意見等把握	市町村関係者を対象にアンケート	P32	3-4 ～ 3-6		
			製造、販売取り扱い業者の理解、意識	製造、販売している業者に対し、事業制度に関する意見等把握	製造、販売業者へアンケート	P34	3-13		

事業区分	事業内容等	全体計画	評価項目	評価項目の考え方等	評価手法	中間報告書			
						本文	資料		
県産木材活用推進	森林整備の意義や木材活用の効果について普及啓発を進めるため、間伐材の搬出や公共施設に愛知県産木材を使用したベンチの導入に必要な経費の一部を市町村に交付する。	間伐材の搬出、公共施設へのベンチ導入に対する市町村への支援数  80件	<b>① 事業実績（事業計画に対する達成状況等）</b>						
			事業計画数量に対する達成率	事業計画数量に対する実績件数の把握	年度別及び全体計画数量に対する実績を集計	—	—		
			<b>② 成果・効果</b>						
			木材搬出量の状況	実績数量の把握	年度別の実績を集計	—	—		
			ベンチ導入数の状況	実績数量の把握	年度別の実績を集計	—	—		
			<b>③ 県民や事業関係者の意識</b>						
			県民の理解、意識	事業内容の理解度、認知度、今後の期待度等の把握	事業全体と併せてアンケート	—	—		
公共施設関係者、市町村関係者等の理解、意識	ベンチ導入施設に対して、有効性、満足度の把握	公共施設関係者にアンケート	—	—					
	実施市町村に対し、事業制度に関する意見等の把握	市町村関係者にアンケート	—	—					

事業区分	事業内容等	全体計画	評価項目	評価項目の考え方等	評価手法	中間報告書			
						本文	資料		
事業全体（普及等）	県民共有の財産である森や緑を次の世代に健全な状態で引き継ぐ	—	<b>① 事業実績（事業計画に対する達成状況等）（P26）</b>						
			事業PRの状況	毎年度のPR実施状況把握	年度別、メディア別のPR実績を集計	P26	1-1		
			事例報告配布状況	毎年度の事例報告配布状況把握	年度別の事例報告配布数集計	P26	1-1		
			ポスター配布	毎年度の配布状況把握	年度別の配布数集計	P26	1-1		
			<b>② 成果・波及効果（P26）</b>						
			基金寄附状況	年度毎の実施状況の把握	年度別の寄附状況集計	P26	1-1		
			事業認知度等	イベント等で定期的に事業認知度等の把握	年度別のアンケート結果による	P26	1-1		
			<b>③ 県民や事業関係者の意識（P27）</b>						
			県民の理解、意識	森林や緑の重要性の理解度、税及び本事業の認知度、個々の事業内容の認知度、事業内容の理解度、進捗状況の認知度・理解度の把握	無作為抽出の県民と法人を対象にアンケート	P27 ～ P29	2-1 ～ 2-18		